

会 議 要 旨 書

会議名	令和5年度第2回三鷹市生涯学習センター利用者懇談会
日 時	令和6年2月21日(水) 午後4時～5時30分
場 所	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階 生涯学習センター学習室3
出席委員 (11人)	進邦徹夫、尾本政二、田山光興、鈴木康継、荻原浩二、黒沢園子、引馬彩子、向井知子、小暮裕子、平山寛 他1人(敬称略)
欠席委員 (2人)	平林孝章、本間あずさ (敬称略)
行政職員 (4人)	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化調整担当部長 齊藤真、生涯学習課主査 中西崇郎、同主事 秋山倅穂
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人
<p>1 開会</p> <p>事務局より、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、会議の公開、会議録の作成、公開についての説明及び配付資料の確認を行った。</p> <p>2 議題</p> <p>【座長】令和4年度の利用者懇談会から提出された「市長への意見及び提案」についての対応状況について、事務局より報告をお願いしたい。</p> <p>【事務局】資料1をご覧ください。令和4年度の利用者懇談会から提出された「市長への意見及び提案」について、現時点での対応状況を記載している。「対応済み」「一部対応済み」「対応困難」「検討課題」という形でまとめている。今期の利用者懇談会から提出される「市長への意見及び提案」についても、今後、同じような表にまとめ、次期の利用者懇談会で対応状況を報告する予定である。</p> <p>【座長】続いて、前回の利用者懇談会で出た委員の皆様からのご意見について、三鷹市スポーツと文化財団から報告をお願いしたい。</p> <p>【委員】団体利用カードについて、カードを持っている人が来られないときに困るので、カードを複数枚発行してほしいというご意見について、使用当日、団体カードをお持ちでない場合は、1階の受付カウンターに声をかけていただければ、受付職員が減免対象か確認し、仮のカードを貸し出しすることができる。</p> <p>料理実習室の食器の汚れに関するご意見について、食器等の漂白については定期的に職員が確認し、対応する。また、スポンジ等、消耗品についても確認を行い、順次購入を進めている。</p> <p>人財バンク「まちの先生」など地域の人財活用に関するご意見について、令和6年度に新しく実施予定の子どもふらっとプレイス事業でご活躍いただくなど、生涯学習関連の事業で積極的にご活躍いただく場を作っていきたいと考えている。</p> <p>ホームページに関するご意見について、ホームページや生涯学習予約システムの更新に合わせて、ご要望のあった機能を追加していきたいと考えている。現行のシステムで、自主グルー</p>	

プの情報発信については検討課題であると受け止めている。いただいたアイデアなどを踏まえて、引き続き検討していく。

【座長】続いて、生涯学習センターで実施している事業について、三鷹市スポーツと文化財団から報告をお願いしたい。

【委員】資料2をご覧ください。事業を大きく分けると、三鷹市からの指定管理事業と生涯学習センターの自主事業がある。市民大学総合コース（以下「総合コース」という。）については、市民による企画運営で、全30回のカリキュラムは市民の企画委員と生涯学習センター職員が協働で作成している。

一般教養コースについては、60歳以上の方が対象のむらさき学苑及び子育て講座がある。

市民講師養成コースについては、全6回の講座を受講した方で、講師デビューをしたいという方を対象に、講座開催のサポートをしている。令和5年度は、5講座の開催を予定している。

生涯学習相談事業については、火曜日から土曜日の午前9時から午後4時30分まで、相談員を配置し、主に自主グループの紹介、グループ活動のサポートを行っている。

自主事業については、三鷹の地域を学ぶ「みたか学」、スポーツと文化財団の各部門と連携した「芸術文化講座」、人財養成講座として「花壇サポーター養成講座」「古文書を読む」講座を実施している。花壇サポーターには、元気創造プラザ公園内の花壇のメンテナンスなどを行っている。

趣味・教養講座については、土曜日、日曜日、祝日を含め、市民の皆様が受講しやすい時間帯などを考慮して開催している。

その他、小・中学生向け講座や委託事業であるZoomオンライン講座、個人学習を支援するための学習室の開放などを行っている。また、12月の第1土曜日、日曜日に、三鷹市内で活動する自主グループが中心となって、生涯学習の成果や発表を行う「生涯学習センターフェスティバル」を開催している。

【座長】今のご説明も参考に、講座・事業に関する意見交換をしていただきたい。

【委員】指定管理事業はすべて無料だが、自主事業は受講料がかかる。これは受益者負担で、それぞれの講座で採算が取れる範囲で受講料を設けているのか。

【委員】自主事業については、一部受益者負担としている。しかし、三鷹市から補助金も交付されているので、民間施設の教養・趣味の講座等と比べると、比較的リーズナブルな金額設定になっていると思う。採算がとれるかどうかという判断ではなく、市民の方のご要望にできるだけ応えるような企画運営をしている。

【委員】私は「オペラ その流れをたどって」という講座を受講した。全3回の講座だったが、内容的にあと2、3回多くてもよかったと思う。また、講師の選定については、もう少し検討の余地があるかなと思った。

【委員】総合コースや、一般教養コースについて、どのように講座や講師を選んで、どういう方たちが受講しているのか。それぞれの事業に関しての、企画から実現までのプロセスや人選について教えていただきたい。

【委員】総合コースについては、カリキュラムも含めて、企画委員による運営となっており、企画委員からご指名いただいた方を講師リストに載せて、順番に交渉している。

【委員】企画委員は、どういう方なのか。

【委員】企画委員は、毎年各コース5人ずつ募集している。公開講座についても、市民の方から推薦をしていただいた講師をリストに載せて、その中から多数決で多い方から講師交渉をし、承諾していただいた講師をお招きしている。

むらさき学苑については、毎回講座アンケートを実施し、人気の高い講師を中心に招きしている。子育て講座についても、同じような形で編成をしている。

市民講師養成コースについては、現在、元NHKアナウンサーの方に来ていただいているが、その方についても、アンケート結果などを踏まえて、ここ数年は同じ方をお願いしている。

【委員】総合コースについては、ただいまご説明した通り、市民の企画に基づき講師を選定し、調整していくような講座になっている。他の事業については、前年のアンケートや、三鷹市スポーツと文化財団の理事会、評議委員会等でいろいろとご意見をいただいたことを踏まえて、三鷹市スポーツと文化財団の職員が、適切な講座内容や講師の方を選定している。

【委員】総合コースは5コースあるが、分野別に市民の方から意見を出してもらうのか、それとも分野も決めずに5つ企画を挙げていくのか。5コースを拝見したときに、偏りがあるように見える。アンケートは誰に取っていて、どういう体裁になっているのか。

【委員】総合コースは、前年度に分野検討委員会を行い、市民の皆様から様々な分野や勉強したいテーマを募集して決定している。

【委員】20人くらいの分野検討委員がいて、様々な分野が挙げられ、その中から希望順位の上位5番目までの分野に決定する。分野が決定したら、今度はどのような内容をやるかを考える。そこまで決定したら、今度は企画委員を募集して、どのようなテーマで、どのような講師を呼ぶのかを話し合う。テーマや講師の選定に関して、三鷹市スポーツと文化財団の職員は聞き役に回っていて、呼びたい講師が決定したら、三鷹市スポーツと文化財団の職員が講師との交渉を行う。つまり、総合コースに関しては、100%市民による企画運営となっている。

【委員】最初5つのコースのラインナップだけを見ると、人文系に偏っているように思ったり、市民が積極的に発信していけるような講座はないのかなとも思ったりした。しかし、毎年市民が一からテーマを選出し、そこから企画を練り上げていくということがわかり、企画のプロセス自体は、とてもよいと思った。

【委員】総合コースは56年続いているが、市民の方になかなか浸透していないというのは問題だと思う。総合コースの受講後に自主グループが立ち上がって、その人たちがまた講師を呼んで、皆さんに公開講座という形で講演会を開くなど、広く市民に還元しているグループも出てきている。

【委員】三鷹市に長年住んでいるが、総合コースのことを知らなかった。

【委員】総合コースはとてもよい事業なので、これをもっと広く、多くの人に知ってもらうために、テーマについても、もう少し幅広く、違うアンテナを持っている人にも届くようになるとよい。また、テーマを刷新するような視点も必要なのかなと思った。

【委員】テーマに偏りがあるということは、その年の企画運営の中で出てきた個性や、三鷹市民が重要だと思っているテーマがあるということが分かるので、企画のプロセスやその年の講座の個性が見えるようにすることが大切だと思う。

【委員】総合コースについて、グループというよりも個人のものになっている気がするので、少しずつ変えていきたい。内容は面白いので満足しているが、新しく参加した人の意見が、なかなか反映されないのが現状である。

【委員】講師が若いと、学生や、勤めている方が参加してくれて、よい意見が出た。

【委員】例えば、企画委員と講師が対談したものを記録して、アーカイビングとして配信できるとよいと思った。

【委員】先日、総合コースのPR動画を撮影したが、どうなったか。

【委員】ここ数年、発信にはとても力を入れている。企画委員の方や講師の方のコメントを撮影したので、YouTubeで配信してPRしていきたい。

【委員】YouTubeのアーカイブがあることは活動の記録になって良いことなので、保存し公開した方が良いと思うが、PRのためには、長い動画は時間の拘束もあって、皆さん見ないと思う。noteなども活用して、文字や写真媒体でもまとめて配信したほうが皆さん読んでくれる。また、文字や写真媒体で掲載していると時間が経ってもアクセスしてくださる方がいる。

【委員】総合コースでは、全30回のうち自主学習が10回ある。できれば、講師による講座を25回くらいにさせていただきたいと思うが、可能性はあるか。

【スポーツと文化部長】基本的に市民の方が一からつくるということを大事にしているので、市や財団が勝手に変えるような性質のものではないと考えている。講座のやり方や内容について、まず市民の皆様の中で議論していただいた上で、改善案を市や財団に伝えていただき、一緒に検討していくという決め方になると思う。

【委員】総合コースについて、1年間で30回は長いので、例えば半期にしたらもっと学習生が集まるのではないかと思う。また、夜間の講座があるとよい。企画委員、運営委員、あゆみ編集委員などがあり、よく理解できていないので、一連の流れが一目で分かるような資料を配付していただきたい。

駐車場の無料時間が3時間までで、3時間のコースを受講するとどうしても時間を超過してしまうので、融通を利かせてほしい。

総合コースの5コースのうち2コースが定員割れしているので、今後、なくなってしまうのではないか不安である。受講後に自主グループができたりもしているので、ぜひ継続して実施していただきたい。また、講師謝礼の金額をあげていただけると、より有名な講師を呼べると思う。

歴史コースでは、受講生の意見を聞いて、10回の自主学習においてDVDを見たり、講師の方の研究所の見学会を行ったりした。

【委員】どのような講座においても、学習意欲のある人が申し込むというのがとても大事だと思う。なので、学びたい人に情報が届くような形を考えていけるとよい。三鷹市には、ネットワーク大学などいろいろな学びの場があるので、そういったところと連携することで、様々な情報を知ることができる機会になると思う。

学習スペース開放事業について、どのような形で開放していて、主にどのような年代の子どもたちが利用しているのか。

【委員】夏休み自主学習スペース開放事業は、夏休み期間に学習室1を開放している。令和5年度の実績では、小・中・高校生の子どもたちが多いという印象である。昨年度までは午前9

時から午後5時までの開放だったが、今年度からは午後8時まで開放しており、来年度は午後9時まで開放する予定である。

学習スペース開放事業は、令和5年12月までは日曜日の午前9時から午後5時までの開放だったが、令和6年1月からは試行的に、土曜日、日曜日、祝日の午前9時から午後9時まで開放しており、来年度は平日も開放したいと考えている。

【委員】皆さん学習をしているのか。

【委員】その通りである。夏休みについては小学生の参加が多いが、学習スペースは中学生、高校生が多い。席も足りなくなってきたので、交流サロンも個人学習ができるようにスペースを配置している。

【委員】趣味・教養講座について、スケジュールはいつ頃決まるのか。一覧表のようなものがあるとよい。

【委員】順次開講するようなスケジュール感になっているので、一斉にリリースというのは、現在難しい状況である。

【委員】できる限り計画的にスケジュールを公表して、受講生の利便性やニーズに応えていきたいと思う。

【委員】花壇サポーター養成講座のように倍率が高い講座について、定員を増やすということは考えているのか。

【委員】少数精鋭で確実に学んでいただくために、市民講師養成コースや花壇サポーター養成講座について、適正な人数を募集している。確実に養成して、市内で活躍していただけたらと考えている。

【委員】市民講師養成コースを受講した方は、その後、講師としてデビューする機会をいただける。私も、子どもの自己肯定感を育む関わりについての講座を開催し、とても有意義な講座になった。受講生はたくさんいるが、講師として講座を開催できるのはその年の1回だけなので、例えば生涯学習センターフェスティバル等で、市民講師が講座をできる機会というのがあるとありがたい。

【委員】総合コースの仕組みなどを知って、とても勉強になり、興味を持つことができた。

【委員】私は20年ほど三鷹市に住んでいるが、総合コースの存在を知らなかった。「広報みたか」もざっとは見ているが、今日まで講座等に申し込もうという気持ちは起きなかった。素晴らしい講座が何十年も続いているということなので、もっとアピールしてほしい。案内は「広報みたか」に掲載しているだけなのか。

【委員】「広報みたか」に、結構大きく掲載されている。

【委員】当選した人が1年間受講できるということだが、言い方を変えれば、落選した人はもう入れない。「広報みたか」を読んでいない人は、申込もできない。なので、申込開始の少なくとも1か月か2か月前に「広報みたか」に掲載し、さらに折込チラシで周知したらどうか。また、3年受講したらその後5年間は受講できないようにするなど、より多くの人に参加してもらえるようにしたらどうか。今年初めて受講するという人は、どれくらいいるのか。

【委員】半分くらいである。

【委員】折込チラシについて、スポーツと文化財団のチラシはカラー刷りのものが全戸に配布

されている。

【委員】自主事業の芸術文化講座や趣味・教養講座について、考え方によれば民業圧迫になりかねないと思うが、民間の講座では、個人情報に関係もあり、受講者同士の交流ができづらく、とても味気ないものになってきている。なので、スポーツと文化財団の講座は、市民の交流の場としてやっていくことに意義があると思う。また、地元ゆかりの講師を呼んでいただきたい。講座を受講するとお互い仲良くなって、それがグループとなって活動しているところもある。できるだけこれを活用して、一般市民の交流の場に貢献するという気持ちで運営をしてもらえたらよいと思う。

【委員】「みたか学」や芸術文化講座について、三鷹市芸術文化センターで取り組んでいる事業と連携をするなど、三鷹市の個性をより多くの市民の皆様を知っていただけるような講座の組立てをしている。そういった意味では、趣味・教養講座の部分が少し幅広く、朝日カルチャーセンターや読売カルチャーセンターなど、そういったところの人気のある内容や講師の方の講座を、三鷹市で受講できるという趣旨で全体としては運営している。

【委員】三鷹市には、いろいろな分野で優れた人がいるので、講師はできるだけ三鷹市民の方がよい。お互い市民であることで、より親しみが持てる講座になってくると思う。三鷹市民の講師を探すために人財バンク「まちの先生」を見てみると、私の関係する芸術分野の場合、なぜか女性ばかりである。

【委員】絵画のグループで日頃から生涯学習センターを使用しているが、以前、予約していた部屋が使えなくなったという連絡があった。予約を取る段階で埋まっていれば講師にも事前に連絡できるが、予約した後に使えないと言われても困る。

【委員】お問合せいただければ、なるべく早くご連絡するようにする。

3 その他

【事務局】次回の懇談会は、令和6年9月頃に開催予定である。それまでの間に、追加のご意見等があれば、メールもしくは電話等で連絡をいただきたい。

-午後5時30分閉会-